

国立演芸場

4月30日(土)

寄席風「京鹿子娘道成寺」



## うめ吉の会 二の巻

## うめ吉新聞



発行所

サトウキカク  
捨山 うめ吉 後援会事務局

〒176-0021

東京都練馬区貫井4-14-25 B1

tel: 03-5848-3046

mail: info@satoh-k.co.jp

うめ吉オフィシャルサイト  
momojazz.net

舞踊「吉原雀」



古今亭今いちさん



古今亭今いちさん



落語 桂仲治師匠



三遊亭遊七さん

鏡味味千代さん



岡山県民謡「下津井節」



三遊亭金の助さん

幕開けはうめ吉と三遊亭遊七さんとの舞踊「潮来出島」。寄席ではうめ吉一人で踊っている演目です。遊七さんは普段男着物のイメージなので女性らしい雰囲気は新鮮だったのではないかでしょうか。そして国立演芸場初登場、帮間の松廻家八好さんのお座敷芸をお楽しみいただきました。そして吉原仲之町の背景幕での鏡味味千代さんの太神楽曲芸と「吉原雀」に合わせてお扇子2本を巧みに操り舞踊曲芸を。その流れで古今亭今いちさんとうめ吉による舞踊「吉原雀」を粹な雰囲気で。そしてお座敷遊びコーナーでは八好さんとミカド香奈子さんによる「とりとり」。

続いてうめ吉の俗曲ではミカド香奈子さんに鳴り物や篠笛を演奏していただき、普段の寄席とは違う雰囲気で四季折々の演目を。そして桂仲治師匠には落語をたっぷりと。うめ吉とは舞踊一門でありながら今回は踊りませんでしたが、来年の三の巻では師匠の踊りもお楽しみに。うめ吉の故郷岡山県民謡「下津井節」では岡山市出身の三遊亭金の助さんと踊りました。下津井の情景を思い浮かべながらほのぼのと。トリネタ「京鹿子娘道成寺」では寄席ならではの楽しい聞いたか坊主の演出で。背景幕の華やかさもあっておおいに盛り上がりました。

4月30日に開催されました「うめ吉の会二の巻」は三年ぶりの開催でした。おかげさまで無事盛況のうちに終えることができました。沢山の応援、まことにありがとうございました。

逗子にて鎌倉はなし会主催の落語会でお世話になりました。笑点のレギュラーにもなった話題の桂宮治さんの独演会。勢いのある宮治さんの世界をたっぷり。

## 桂宮治独演会

4/9



トリをつとめる人間国宝の神田松鯉先生と

岩手県宮古市で開かれた「みやこ復興寄席」。2016年以来二度目の出演です。今回は東北新幹線が使えず急遽飛行機移動となり、2泊3日の旅となりました。おかげで名所淨土ヶ浜へも観光し、美しい景色を堪能しました。



ピンクでお揃いになりました、お馴染みの三遊亭好楽師匠と

## みやこ復興寄席

3/21



NHKの5005スタジオで収録。感染予防対策の為、一般のお客様を入れずに行われました。同じ協会で漫才の東京太ゆめ子先生と落語協会の春風亭一之輔師匠と、樂屋では話が尽きません。



東京太先生とおしゃべり



東ゆめ子先生 京太先生 春風亭一之輔師匠

## NHKラジオ第一 真打ち競演

4/2



## うめ吉の会 五の巻 あるばむ

5/1

鏡味味千代さん



三遊亭遊七さん うめ吉  
鏡味味千代さん ミカド香奈子さん



京鹿子娘道成寺曲半ばでの手拭い撒きでは手拭い以外にやはり岡山倉敷の製品をご用意致しました。デニム地や帆布生地のコースター、畳縁の小銭入れ、丸五の足袋ストラップなど楽しい小物が沢山でした。

来年の4月30日、うめ吉の会三の巻に向け準備を進めています。寄席芸人ならではの、くらしき観光大使なうではのうめ吉の会をお楽しみに。どうぞよろしくお願い致します。



舞踊「京鹿子娘道成寺」



お座敷あそび



お客様にお配りしたパンフレットと記念品のうめ吉特製タオル倉敷のパンフレットや折り紙も同封



下津井節舞い  
古里にエール  
東京で開催の主催公演  
コロナ禍から回復願う  
山陽新聞掲載(4/26付)



ミカド香奈子さん 松迺家八好さん 古今亭今いちさん 桂伸び太さん

開催決定！ 2023 うめ吉の会 三の巻 令和5年4月30日(日) 国立演芸場



お座敷あそび

## うめ吉の会 五の巻 あるばむ

5/1

ご来場記念に、可愛いピンク地のうめ吉特製タオルや倉敷市の観光パンフレットなどご用意いたしました。

抽選会では三年前の一の巻同様、岡山倉敷のスパンサーの皆様から沢山の名産品・特産品をご提供いただき、5人に一人は当たるという大盤振る舞い。(橋香堂むらすづめ、ふるいちのぶつかげうどん、月のうつわ中華そば、桃太郎ジーンズのデニムトート、高田織物畳縁のポーチ、大原本邸入館券、大原美術館入館券、大原美術館図録)

京鹿子娘道成寺曲半ばでの手拭い撒きでは手拭い以外にやはり岡山倉敷の製品をご用意致しました。デニム地や帆布生地のコースター、畳縁の小銭入れ、丸五の足袋ストラップなど楽しい小物が沢山でした。

来年の4月30日、うめ吉の会三の巻に向け準備を進めています。寄席芸人ならではの、くらしき観光大使なうではのうめ吉の会をお楽しみに。どうぞよろしくお願い致します。

女将ご夫妻、横浜の芸者衆、神楽の皆さん



横浜の旅館松島さんは故 桂歌丸師匠に頂いたご縁で繋がっています。前半はうめ吉と桂歌丸の演芸、後半は芸者衆や神楽 獅子舞いなど、盛りだくさんのお座敷でした。富久丸お姐さん(写真:うめ吉左隣)と打ち合わせをし、うめ吉とコラボした演目もあり大変賑やかな会となりました。

## 旅館松島

4/10



桂宮治さんと



将棋の対局会場としても有名な花月園さん

つつじ庭園で有名な箱根の花月園でうめ吉ライブと温泉をお楽しみ頂く企画。お集まり頂きありがとうございます。ライブでは舞踊「藤娘」や小唄を。翌日のオプションツアーではロープウェイで大涌谷へ、そして箱根神社参拝。曇り空で富士山は見えませんでしたが、久しぶりのツアードお客様同士の交流もまた深まつたのではないでしょうか。

お江戸日本橋など東海道ゆかりの曲などを織り交ぜて

箱根めぐりツアーにて  
大涌谷の黒たまご



落語会でも演芸会でもない、大人の集まるサロン。フランスにはそんなサロンが沢山あるそうで、それをヒントに企画が始まつたそうです。三遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話

遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話遊亭竜楽師匠とはフランス公演などヨーロッパのご縁をいただいてお吉のコーナーでは芸人としての裏話

GARLOCHI  
三遊亭竜楽師匠と  
テアトロ・ガルロチにて(新宿 伊勢丹会館6F)



嘶のさうん  
6/4



ピレーヌは今回特別に手作業で個包装していただきました。  
ありがとうございます。

この神楽坂のイベントも10年目。昨年と一昨年はオンライン配信のみで行われましたが今年は三年ぶりのリアル会場での開催となり、うめ吉も三年ぶりの出演でした。今回はライブハウス「THE GLEE」にて。

ご来場ありがとうございました。  
以前共演した落語パフォーマーのシリル・コピニさん。今年は神楽坂芸者衆とお座敷で共演だそうです。



神楽坂まち舞台  
大江戸めぐり2022  
おとだまライブ  
5/22

# うめ吉

シリーズ第15弾

# と行く 宮島・尾道の旅

2022年 10月21日(金)~10月23日(日)

参加者  
募集!

鞆の浦 史跡巡り  
千光寺公園 ロープウェイ~尾道 散策  
東広島酒蔵通り散策  
呉湾艦船巡りクルーズ 大和ミュージアム  
熊野・筆の里工房  
湯坂温泉  
宮島 厳島神社 ほか



宮島



尾道 千光寺公園ロープウェイ



呉湾 艦船巡りクルーズ

詳しくはツアーパンフレットをご覧下さい。  
パンフレットをご希望の方は、メール、電話にてサトウキカクまでお申し込み下さい。  
追ってパンフレットをお送りします。

ツアーパンフレット請求先  
サトウキカク  
Tel: 03-5848-3046  
メール: info@satoh-k.co.jp

ツアーへのお申し込みはパンフレットを  
ご覧の上、全観トラベルへ

「藏めぐり」や「はしご酒」の名所  
西条酒蔵通り

今回は岡山県のお隣、広島県を満喫する一泊三日の旅です。宮島、鞆の浦、尾道、呉など見どころ満載の内容です。宮島での厳島神社参拝、もみじ饅頭作り体験、千光寺のロープウェイから臨む尾道の景色、呉湾の艦船めぐりでは海上自衛隊の潜水艦や護衛艦を間近に見ながら解説付きでのクルージング、鞆の浦の対潮楼からの眺めは必見です。美しい景色に歴史的な街並みなど眼福を得ること間違い無しの3日間です。また、最終日福山駅解散後に、希望される方には福山自動車時計博物館へのご案内を予定しています(15名以上ならボンネットバスでの送迎付き)。

皆様のご参加をお待ちしています。

**鉄道唱歌、明治の音楽と鉄道!**

○7月9日(土)  
出演) 古今亭駒治 六角精児  
会場) 国立劇場 小劇場  
時間) 開演15時  
料金) 一般 5,000円 学生 3,500円  
チケット) 国立劇場チケットセンター  
0570-07-9900

義太夫や俗曲、明治時代の流行り歌など、鉄道唱歌の成り立ちを音楽で辿る鉄道をテーマにした公演。当時のおまわりさん役で登場する六角精児さんとうめ吉のからみも? 鉄道好きな国立劇場職員さんの情熱で実現した豪華な公演です。



うめ吉とも  
ご縁がいっぱい  
鳥取県の民謡集  
ができました。

**New**  
リリース!

まぼろしの鳥取民謡「倉吉小唄」  
今、うめ吉の歌声で  
よみがえる。

倉吉小唄 (三朝小唄 貝殻節)  
倉吉小唄 (鳥取県お国自慢)  
倉吉小唄 (鳥取県お国自慢)

¥1,100 (税込)

鳥取県お国自慢  
倉吉小唄  
三朝小唄  
貝殻節

野口雨情作詞  
作曲  
鳥取県お国自慢  
倉吉小唄  
唱  
新  
倉  
吉  
小  
唄



←ご購入はこちらから

幻の「倉吉小唄」復活  
吉井が復活させたCD化

吉井が復活させたCD化

吉井が復活させたCD化

第4弾新発売! LINEスタンプ  
**New** うめ吉とニッポンしましょ! Part2

お世話になります  
ちら  
お世話になります  
ちら  
お世話になります  
ちら

QRコード  
QRコード  
QRコード

うめ吉 スケジュール

寄席スケジュール

○六月 下席 前半 (6月21日~25日)  
浅草演芸ホール 屋の部 15時 55分頃  
(7月1日~5日)  
○七月 上席 池袋演芸場 夜の部 (17時 45分頃)  
浅草演芸ホール (03-3351-2974)  
池袋演芸場 (03-3971-4545)  
○七月 中席 前半 (7月11日~15日)  
浅草演芸ホール 夜の部 (17時頃)  
新宿演芸ホール (03-3841-6545)  
新宿演芸ホール (03-3351-2974)  
池袋演芸場 (03-3971-4545)  
○七月 中席 前半 (7月11日~15日)  
浅草演芸ホール 夜の部 (17時頃)  
新宿演芸ホール (03-3841-6545)  
新宿演芸ホール (03-3351-2974)  
池袋演芸場 (03-3971-4545)  
○七月 中席 前半 (7月11日~15日)  
浅草演芸ホール 夜の部 (17時頃)  
新宿演芸ホール (03-3841-6545)  
新宿演芸ホール (03-3351-2974)  
池袋演芸場 (03-3971-4545)